

電波掛時計 取扱説明書 (1T211A-JJ02 RC step-z 共通)

1T211A-JJ02 RC step-z-2404

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時 間 精 度：平均月差 ±30 秒以内 (気温 25℃で使用した場合)
※電波時計による時刻修正を行わない場合
※指針 (針の位置) 誤差
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合があります
が、故障ではありませんのでそのままお使い下さい。
秒針：±1 秒以内、時・分針：±3 度以内
- 使用温度範囲：0 ～ +40℃ ※結露なきこと
(外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 使用推奨電池：単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 1 個
- 電池寿命：約 12 カ月 (単3形アルカリ乾電池 1 個使用の場合)
- 電 波 受 信：40kHz/60kHz のどちらか受信しやすい電波を受信し、
現在時刻に合わせる
●自動受信 (7 回 / 1 日) ●手動受信
- 電波受信結果お知らせランプ
- 電波受信 ON/OFF 切替機能

電波時計について

電波時計とは
標準電波を受信して自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

標準電波とは
情報通信研究機構 (NICT) が運用している時刻情報をのせた電波です。標準電波送信所
は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と、佐賀県と福岡県の県境にあ
る「九州局：はがね山標準電波送信所」の国内 2 か所にあります。
※標準電波の時刻情報は、およそ 1 0 万年に 1 秒の誤差という精度の「セシウム原子時計」
によるものです。

標準電波の送信停止について
標準電波は毎時 15 分と 45 分から各 1 分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。
また、送信所の定期点検や落雷などの影響により停波 (送信停止) することがあります。
標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

日本国外でのご使用について
本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。海外で使用了場合、ご使用になる
場所の条件により日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った日時を表示する場
合があります。あらかじめご了承ください。

電波の受信範囲について
送信所からおおむね半径 1000 k m とされています。
※電波を受信できない場合は、
内蔵クォーツの精度で計時します。



電波を受信しにくい環境

- 次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
- 工事現場、空港の近く、交通量の多い場所など電波障害の起きやすいところ
 - ビルの中、ビルの谷間、山など電波を遮るものの近く
 - 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
 - 金属製の雨戸やブラインドの近く
 - 高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
 - 自動車、電車、飛行機などの中
 - 家電製品やOA機器、蛍光灯などの照明器具の近く
 - スチール机などの金属製家具の上や近く
 - 朝・夕の時間帯や雨天のとき
- ※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合は、リセット操作を
行い使用する場所を変更してご使用下さい。

標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準
時グループ」を参照して下さい。

情報通信研究機構 ホームページアドレス <https://jjy.nict.go.jp>

電池の交換について

- 電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。自動電波
受信のときは針がぐるぐる回ります。このような場合は、速やかに新しい電池
に交換して下さい。
- ※買い置きの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や
保管状態により、電池寿命が短くなることがあります。

故障かな?と思ったときには…

※製品が正常に作動していないときは修理を依頼する前に下記を参考に
お確かめ下さい。

針がぐるぐる回る

考えられる原因	処 置
電池容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。
電池を入れた直後の 電波の受信の準備中	そのままお待ち下さい。 早回りしている針は午前0時位置で一旦停止します。 電波を受信すると、自動的に針を現在時刻に合わせます。 ※その間ボタン操作はしないで下さい。
時刻修正中	電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わ せます。 電波受信に失敗した場合、通常の運針を始めますが、 現在時刻ではありません。 本書「電波受信ができなかった場合は」を参照して下さい。

秒針が止まって動かない

考えられる原因	処 置
電波受信時の秒針 停止中	そのままお待ち下さい。 ※内蔵プログラムにより、毎日7回電波を自動受信します。 午前2時16分、午前3時16分、午前6時16分の電波受信時 (最大16分)は秒針が12時位置で停止します。 ※午前/午後を間違えて設定すると、上記の自動電波受信 時以外の時間に秒針が停止してしまいます。 ※本製品は、秒針位置の誤差を自動で修正します。
午前/午後を間違えて 設定している (手動設定時)	
秒針位置の自動補正中	

時計が動かない

考えられる原因	処 置
電池容量が無い	電池の⊕⊖の向きを確かめて、新しい電池を入れて 下さい。
電池が入っていない	
電池が正しい向きで 入っていない	
電池端子の接触不良	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。

時計が止まる、または遅れる

考えられる原因	処 置
電池容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。
電波障害	リセット操作をして下さい。 (本書「リセット操作について」参照)

時分針が早回りした後、動かない

考えられる原因	処 置
電波の受信中	そのまま16分程お待ち下さい。その間ボタン 操作はしないで下さい。
電池容量が無い または容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。

リセット操作について

操作中に不明な点が出てきた場合、**RESET**ボタンを押して下さい。設定されて
いる内容がお使い始めの状態に戻ります。針が早回りして12時位置で停止し、
再度最大16分間電波受信状態となります。
※**RESET**ボタンは、先の細い尖っていない棒などで押して下さい。針など
の鋭利なものを使用するとボタンが破損しますのでご注意ください。

自動電波受信機能について

本製品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波
受信を行います。電波を受信できない場合、内蔵クォーツの精度で計時し、
次の自動受信時間に再び電波受信を行います。

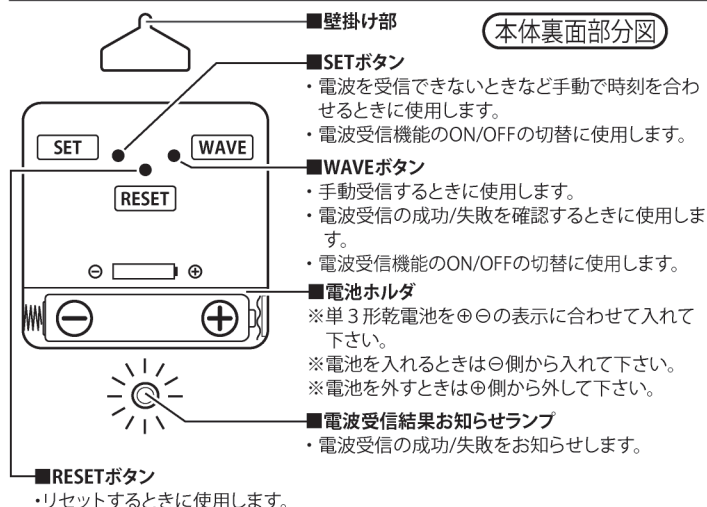
- 自動受信を1日に7回下記の時間に行います。
午前 2 : 16 : 40 / 3 : 16 : 40 / 6 : 16 : 40 / 10 : 16 : 40
午後 2 : 16 : 40 / 3 : 16 : 40 / 10 : 16 : 40

※午前 2 / 3 / 6 時台の受信中、秒針は12時の位置に停止します。
※午前10時、午後 2 / 6 / 10 時台の受信中、秒針は停止しません。

静電気の影響

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このような場合、
リセット操作をして下さい。

各部の名称



ご使用方法

1.電池を入れる

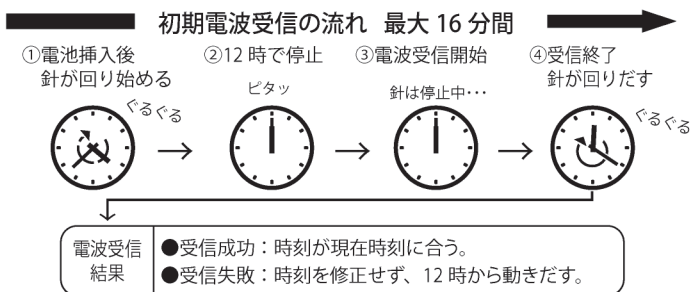
単3形乾電池1個を、電池ホルダの⊕⊖の表示に合わせて入れます。

2.RESETボタンを押す

※RESETボタンは、先の細い尖っていない棒などで押して下さい。針などの鋭利なものを使用するとボタンが破損しますのでご注意ください。

※すでに運針を始めていてもRESETボタンを押して下さい。

3.電波を受信させて時刻を合わせる



①電池を入れたら秒針/分針/時針が高速で回り始めます。同時にRESETボタンを押します。

②3針が12時で停止します。

③電波受信を始めます。

④電波受信が終了したら、再び針が回りだします。

●電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。

●電波受信に失敗した場合、時刻を修正せず、針が12時から動きだします。

※電波受信の成功/失敗を確認するには、本書の「電波受信結果の確認方法」を参照して下さい。

※電波受信に失敗した場合は、本書の「電波受信ができなかった場合は」を参照して下さい。

4.時計を掛ける

本書の「時計の掛け方について」と「電波時計について」を参照して下さい。

電波受信結果の確認方法

電波受信の成功/失敗の確認は時計裏面の電波受信結果お知らせランプで確認できます。

WAVEボタンを押して電波受信結果お知らせランプを確認してください。

●電波受信が成功した場合：電波受信結果お知らせランプが3回点滅

●電波受信が失敗した場合：電波受信結果お知らせランプが3秒間点灯

※電波受信結果お知らせランプが点滅も点灯もしない場合は、電波の自動受信または電波受信機能がOFFになっています。

電波受信ができなかった場合は

1.朝までそのままにしておく

※一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと、電波受信をできる可能性が高くなります。

2.設置場所を変えて受信をやり直す

電波を受信しやすい場所に時計を移動し、再度手動で電波を受信させます。

本書の「電波時計について」の「電波を受信しにくい環境」と手動受信についてを参照して下さい。

3.手動で時刻を設定する

電波受信は行わずに、SETボタン操作で時刻を合わせます。

電波を受信できない間は、内蔵クォーツの精度で計時します。

本書の「手動で時刻を設定する」を参照して下さい。

手動受信について (ボタンを押して電波を受信させる) IT211A-JJ02 RCstep-z-2404

※「電波を受信しにくい環境」を参考にしてご使用ください。

1.通常運針時(電波受信中外)に、WAVEボタンを3秒長押しします。

2.3針が早回りして12時位置で停止し、電波受信を始めます。

●電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。

●電波受信に失敗した場合、時刻を修正せず、針は内蔵クォーツで計時していた位置から動きだします。

手動で時刻を設定する

【注意】 電波受信中は、手動による時刻設定はできません。

1.通常運針時(電波受信中外)に、SETボタンを押し続けます。

→秒針が停止して時分針が動きだし、手動で時刻が設定できる状態になります。

2.SETボタンを押し続けて時刻を合わせます。

※初期電波受信、あるいは手動受信中の針は、午前0時(12時位置)で停止します。合わせたい時刻が午後の場合は12時間以上移動させて現在時刻に合わせて下さい。

3.時刻合わせが終了したら、SETボタンを放して下さい。

→秒針が通常運針を始め、設定が完了します。

※秒針は手動で合わせられません。

※手動で時刻を設定しても、電波受信機能がONの場合、自動受信時間になると、電波を受信する状態になります。電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。

電波受信ON/OFFの切替機能について

電波受信ON/OFFの設定を切替えることができます。

SETボタンとWAVEボタンを同時に約5秒長押しをして下さい。

→電波受信機能のON/OFFが切替わります。

秒針が高速で回って2時もしくは10時の位置に停止し、電波受信の設定を約5秒間指し示します。

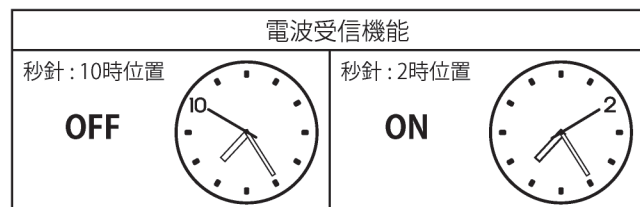
●秒針が2時の位置に停止した場合

電波受信機能はONの状態です。自動受信時間になると、電波を受信する状態になります。電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。

●秒針が10時の位置に停止した場合

電波受信機能はOFFの状態です。自動受信を行いません。また、WAVEボタンを押して手動受信させることはできません。

※電波受信をONの状態にするには、再度SETボタンとWAVEボタンを同時に約5秒長押しをして下さい。



※秒針は、電波受信の設定を約5秒間示した後、通常運針に戻ります。

※ON/OFFを切替えた後、続けて電波受信を行う、または手動で時刻を設定するときは、秒針が通常運針に戻ってから操作を行って下さい。

※リセット操作を行うと電波受信機能はONになります。

本書の「リセット操作について」を参照して下さい。

時計の掛け方について

【注意】 掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。

●掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。

●時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。

●ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。

●落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けしないで下さい。

●壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線の位置を確認し、取り付けて下さい。

●壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。

※材質・構造が不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。

